

卒業後の進路

作業療法学専攻

進学

大学院・修士課程：修士（作業療法学）

- 医歯薬学総合研究科 保健学専攻 作業療法学分野

博士課程

- 看護学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 保健科学分野

就職

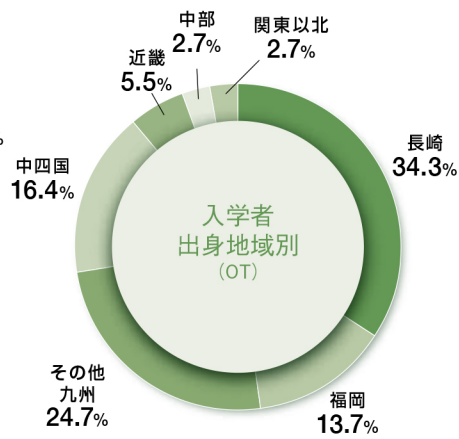
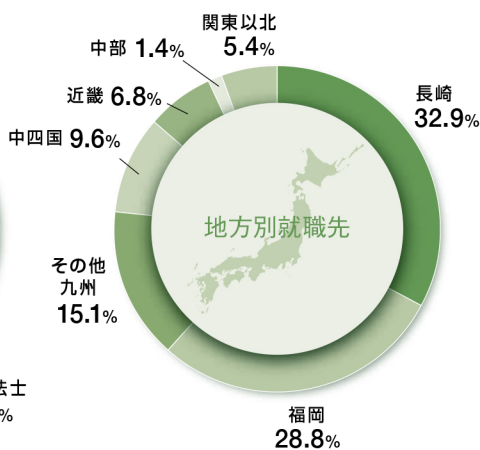
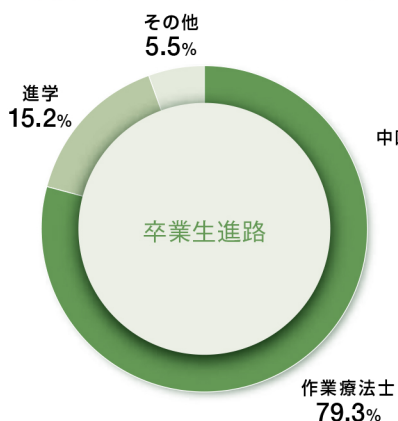
医療領域

- 総合病院 ● 大学病院 ● リハビリテーション病院
- 精神・神経科病院 ● こども病院
- リハビリテーションセンター ● 訪問看護ステーション他

保健・福祉領域

- 保健センター ● 精神保健センター ● 介護老人保健施設 ● 介護老人福祉施設 ● 通所リハビリテーション
- 通所介護 ● 身体障害者更正施設・養護施設・授産施設 ● 身体障害者更正相談所 ● 精神障害者授産施設
- 小規模作業所 ● 肢体不自由児施設 ● 母子通園施設 ● 心身障害児（者）施設 ● テクノイドセンター ● 保育園

過去5年の実績



活躍する卒業生

専門性を高め可能性を広げることができました



東恩納 拓也
東京家政大学（作業療法士）
作業療法学専攻9期生（2013年度卒業）

現在、私は東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科で教員として勤務しています。作業療法士や理学療法士を志す学生の方々のために教育の立場で仕事をしています。また、発達領域を専門にし、主に神経発達症（発達障害）のある子どもたちにみられる協調運動障害をテーマに研究もしています。

私は大学卒業後すぐに大学院へ進学し、修士課程、博士課程を修了しました。また、医療型障害児入所施設で勤務し、重症心身障害や発達障害のある方々を対象に臨床業務も行ってきました。大学を卒業した当時は大学院へ進学する学生は少なかったのですが、最近では大学院へ進学する後輩たちも増え、全国的にも修士号や博士号の学位をもつ作業療法士が増えています。

作業療法士は対象者一人ひとりの生活や「その人らしさ」に焦点を当てる必要不可欠な存在であり、周囲から求められる専門性が高まっていると思います。長崎大学では卒業後も学び合い、専門性を高め、個人の可能性を広げることのできる環境があると思います。

ここで出会う仲間との経験が、作業療法士として働く力になります



岡村 諒平
長崎原爆病院（作業療法士）
作業療法学専攻16期生（2020年度卒業）

私は現在、長崎原爆病院に勤務しながら、長崎大学大学院の博士課程にも在籍しています。臨床の現場では、患者様に「楽しい時間を過ごしているうちに、心も身体も元気になってきた」と感じていただけるような作業療法を目指し、一人ひとりにとって「意味のある活動」とは何かを日々考えながら支援しています。大学院では、仮想現実（VR）を活用した新たなリハビリテーションの開発に関する研究に取り組んでいます。研究活動は大変なことも多いですが、作業療法士としての専門性を高めるため、日々研鑽を積んでいます。私が作業療法士として働けているのは、大学時代に同級生と共に学び、支え合った日々があったからこそです。試験前には夜遅くまで集まって勉強し、互いに励まし合いながら乗り越えたことも数え切れません。同じ志を持つ仲間と出会い、共に成長できたことは、私にとってかけがえのない財産です。長崎大学での出会いと学びは、作業療法士としての基盤を築く、大切な時間だったと実感しています。